

「日向市まちづくり100人委員会」の活動経過

- 平成12年（2000）2月
市は、第4次日向市総合計画の策定にあたり、市民の意見を反映するために日向市広報で市民委員会の委員を公募しました。
- 平成12年（2000）6月9日
市は、「日向市まちづくり100人委員会」の設置を発表し、委員の公募をしました。同時に市民委員の方々は、そのまま100人委員会の委員になっていただきました。
- 平成12年（2000）7月13日
市は、「日向市まちづくり100人委員会」第1回会議（発足会）を開催し、約200人でスタートをきりました。そして、100人委員会への最初のお願ひとして、第4次日向市総合計画に対する提言をいただくこととしました。
以後、100人委員会はグループごとにグループ会議を開催。9月いっぱいを目処に、グループごとに意見を集約し、その後「100人委員会」全体の意見としてまとめることとしました。
- 平成12年（2000）10月10日
「100人委員会」は、市長に第4次日向市総合計画に対する提言書を提出しました。
- 平成12年（2000）12月19日
市は、10月10日に提出された提言書を受けて、第4次日向市総合計画の素案を作成し、委員全員に素案冊子を郵送しました。そして再度、「100人委員会」に対して、翌年1月中にグループごとに意見を出していただくこととしました。
- 平成13年（2001）1月19日
「100人委員会」は、市に対し、第4次日向市総合計画の素案に対する最終の意見書を提出しました。

以上のおり、「100人委員会」は、平成12年7月に発足し、年齢ごと7グループに分かれて、主に第4次日向市総合計画についての提言をするために活動してきましたが、提言後も“市民による市民のための市政”を実現するために、継続して活動することとしました。

しかし、発足時点で総合計画の提言を優先的に議論してきたため、本来、最初に話し合っておくべき「組織のあり方」や会を運営するための「基本的なルール」、あるいは「行政との関係」といった「100人委員会」の基本的なあり方が、十分に議論されていませんでした。

そのため、「100人委員会」は、これらの基本的なことを、既存のグループを中心に議論しましたが、委員から出される意見が多種多様であり、これをまとめる作業は相当な時間と労力を要すると多くの委員が予想しました。

そこで、今後の「100人委員会」のあり方を、効率的にまとめるために、新体制スタートのための「準備会」を発足させることとしました。

- 平成 13 年（2001）5月14日
「100 人委員会」(事務局)は、「100 人委員会」委員全員に、「準備会」発足の経緯の説明と参加の呼びかけを行いました。その結果、38名の委員(うち2名は中途退会)が「準備会」に参加することになりました。
- 平成 13 年（2001）6月から平成 14 年（2002）2月までに、計 15 回の「準備会」会議を開催し、課題とされていた「100 人委員会の今後のあり方」についての素案を取りまとめることができました。
- 平成 14 年（2002）2月8日
「準備会」は、下記の素案を「100 人委員会」委員はもちろんのこと、再び広く市民に提案し、新たな「100 人委員会」への参加を呼びかけるため、新「日向市まちづくり 100 人委員会 全体会」を日向市中央公民館ホールで開催しました。
「全体会」は、委員(市民)、市職員等約 150 名の参加のもとに行われ、「準備会」の提案した各素案は原案どおり承認されました。
「全体会」終了後、7つの分科会(教育・文化、環境、まちづくり、産業、観光、福祉・保健、行財政)に分かれて、今後の分科会運営についての説明(分科会準備会議)が行われました。
- 平成 14（2002）年4月11日
「100 人委員会」の代表(5 名)は、市長室において日向市長に対し、去る2月8日の全体会で承認された「日向市まちづくり 100 人委員会と日向市とのパートナーシップ協定(案)」を提出し、協定締結の提案をしました。
- 平成 14（2002）年5月16日～24日
市は、「日向市まちづくり 100 人委員会と日向市とのパートナーシップ協定(案)」の内容の理解と、今後「日向市まちづくり 100 人委員会」とどのようにしたら良好な関係を維持、発展できるかということ市職員一人ひとりが考える機会とするため、全職員を対象に「100 人委員会に係る職員研修」を実施しました。
- 平成 14（2002）年10月15日
平成 14（2002）年 4 月 11 日以降、「100 人委員会」と市との間で、「日向市まちづくり 100 人委員会と日向市とのパートナーシップ協定(案)」の内容について検討、協議が数回わたって行われましたが、最終合意に至りました。
- 平成 15（2003）年2月28日
市と 100 人委員会は、「日向市まちづくり 100 人委員会と日向市とのパートナーシップ協定」を締結しました。
調印式は日向市中央公民館ホールで行われ、市長と 100 人委員会代表 5 名が協定書に署名・なつ印し、会場に集まった約 300 名の市民(100 人委員会委員、市職員を含む)立会いのもと行われました。

●平成 15（2003）年4月17日

100人委員会は、昨年7月に発生した日向サンパーク温泉「お舟出の湯」レジオネラ症集団感染事故により営業停止となっている同施設について、市が施設・設備や経営組織等を改善し再開を目指していることから、「日向サンパーク温泉特別分科会」を設置しました。

分科会設置の目的は、同温泉施設の再開に向け、可能な限り改善計画に寄与する提言を行うこととしています。

●平成 15（2003）年8月4日

日向サンパーク温泉特別分科会が、市長に「日向サンパーク温泉「お舟出の湯」の施設・設備の改善に関する提言書」を提出しました。提言は、同施設改善に係る基本事項と排水系統に係る事項の2項目について行いました。

●平成 15（2003）年10月28日

100人委員会は、2回目となる全体会を開催し、約80名の市民が参加しました。代表改選は、運営委員会から集まった委員への推薦・承認という方式で行われました。

●平成 15（2003）年11月19日

観光分科会が、市長に「日向市内の観光案内標識の必要箇所及び改善に関する提言書」を提出しました。提言は、日向市における既存の観光看板等の設置場所やデザイン、内容を分かりやすくすることにより、観光客にとって快適な観光地づくりを実現することを目的としています。

●平成 16（2004）年1月16日

行財政分科会が、市長に「市民と行政の情報共有に関する施策についての提言書」を提出しました。提言は、市民と市が互いに理解し合いながら市の将来について議論できる環境を作っていくための前提である「情報の共有」を目的とするもので、「まちづくり市民講座」の実施をはじめ、具体的な施策4つで構成されるものです。

●平成 16（2004）年3月26日

市は、「日向市内の観光案内標識の必要箇所及び改善に関する提言書」（昨年11月19日観光分科会）に対する回答をしました。

回答の内容については、平成16年度に市（商業観光課担当）が設置する予定の「サインシステム検討委員会」に同提言書を提出し、内容を検討したいというものです。

●平成 16（2004）年7月14日

市は、「日向サンパーク温泉「お舟出の湯」の施設・設備の改善に関する提言書」（平成15（2003）年8月4日付け提出）に対する回答をしました。

●平成 16（2004）年7月22日

市は、「市民と行政の情報共有に関する施策についての提言書」（平成16（2004）年1月16日付け提出）に対する回答をしました。

- 平成 16（2004）年7月22日
100人委員会は、「100人委員会と市長との意見交換会」を行ないました。
意見交換は、パートナーシップ協定の内容や協働に関する3つの原則の確認を行なうなど、互いの信頼を深め、これからの市民と行政の協働のまちづくりを実現していくための有意義な内容のものでした。
- 平成 16（2004）年8月5日
日向サンパーク温泉特別分科会が、市長に「日向サンパーク温泉「お舟出の湯」の運営に関する提言書—市民に愛される施設をめざして—」を提出しました。提言は、「温泉ニュース」の発行や「市民モニター制度事業」、「市民温泉サポーター制度事業」など、温泉施設の情報共有と市民参加を基本にした内容となっています。
- 平成 16（2004）年8月27日
まちづくり分科会が、市長に「日向市駅鉄道高架下の市民スペース有効活用についての提言書」を提出しました。提言は、新しい駅舎に設置される鉄道高架下の市民活用スペースの有効利用についてのもので、市民活用スペースの具体案を添えた内容となっています。
- 平成 16（2004）年9月22日
市は、「日向サンパーク温泉「お舟出の湯」の運営に関する提言書—市民に愛される施設をめざして—」（平成 16（2004）年8月5日付け提出）に対する回答をしました。
- 平成 16（2004）年10月22日
市は、「日向市駅鉄道高架下の市民スペース有効活用についての提言書」（平成 16（2004）年8月27日付け提出）に対する回答をしました。
- 平成 17（2005）年2月10日
100人委員会は、3回目となる全体会を開催し、約30名の市民が参加しました。代表改選は、運営委員会から集まった委員への推薦・承認という方式で行われました。
また、今後の100人委員会の活動のあり方をテーマに参加者によるディスカッション（意見交換会）を行いました。
- 平成 17（2005）年5月31日
福祉・保健分科会が、市長に「日向市地域福祉計画策定への提言」を提出しました。提言は、日向市の地域福祉の充実に貢献することを目的に、策定中の日向市地域福祉計画に盛り込むべき内容を示したものとなっています。
- 平成 17（2005）年7月12日
市は、「日向市地域福祉計画策定への提言」（平成 17（2005）年5月31日付け提出）に対する回答をしました。
- 平成 17（2005）年9月20日
100人委員会は、市長に「大学誘致に関する質問書」を提出しました。
質問書は、日向市が取り組む大学誘致事業についての情報提供・公開を求める内容となっています。

- 平成 17（2005）年9月29日
市は、「大学誘致に関する質問書」（平成 17（2005）年9月20日付け提出）に対する回答をしました。
- 平成 17（2005）年10月4日
教育・文化分科会が、市長に「学校週五日制に伴う学校施設開放に関する提言書」を提出しました。提言は、土日に行き場をなくした子どもの受け皿と社会訓練の場として、学校施設の開放を提案する内容となっています。
- 平成 17（2005）年11月7日
100人委員会は、市長に「大学誘致に関する再質問書」を提出しました。
質問書は、前回提出した質問書に対する回答内容を再度詳しく問う内容となっています。
- 平成 17（2005）年11月16日
市は、「学校週五日制に伴う学校施設開放に関する提言書」（平成 17（2005）年10月4日付け提出）に対する回答をしました。回答の内容については、平成 18年度に市教育委員会（学校教育課担当）が設置する予定の「（仮称）学校施設開放検討委員会」で全般的な検討を行ったうえで学校施設開放に関する規則等を整備したいというものです。
- 平成 17（2005）年11月18日
市は、「大学誘致に関する再質問書」（平成 17（2005）年11月7日付け提出）に対する回答をしました。
- 平成 18（2006）年1月26日
100人委員会は、市長に「市長への要望書」を提出しました。要望書は、日向市が取り組んだ大学誘致の経緯の説明と今後の日向市における市民参画制度の充実を求める内容となっています。
- 平成 18（2006）年2月20日
市は、「市長への要望書」（平成 18（2006）年1月26日付け提出）に対する回答をしました。

●平成 18（2006）年5月24日

次の 100 人委員会分科会は、市長にこれまでに提出した提言書に対する回答内容の進捗状況を調べるため、「質問書」を提出しました。

日向サンパーク温泉 特別分科会	「日向サンパーク温泉「お舟出の湯」の施設・設備の改善に関する提言書」に係る質問書
	「日向サンパーク温泉「お舟出の湯」の運営に関する提言書」に係る質問書
観光分科会	「日向市内の観光案内標識の必要個所及び改善に関する提言書」に係る質問書
行財政分科会	「市民と行政との情報共有に関する施策についての提言書」に係る質問書
教育・文化分科会	「学校週五日制に伴う学校施設開放に関する提言書」に係る質問書

●平成 18（2006）年6月16日

市は、次のとおり、100 人委員会の各分科会が提出した「質問書」に対する回答をしました。

観光分科会あて	「日向市内の観光案内標識の必要個所及び改善に関する提言書」に係る質問書について（回答）
行財政分科会あて	「市民と行政との情報共有に関する施策についての提言書」に係る質問書について（回答）
教育・文化分科会 あて	「学校週五日制に伴う学校施設開放に関する提言書」に係る質問書について（回答）

●平成 18（2006）年6月21日

市は、次のとおり、100 人委員会の各分科会が提出した「質問書」に対する回答をしました。

日向サンパーク温泉 特別分科会あて	「日向サンパーク温泉「お舟出の湯」の施設・設備の改善に関する提言書」に係る質問書について（回答）
	「日向サンパーク温泉「お舟出の湯」の運営に関する提言書」に係る質問書について（回答）

●平成 18（2006）年6月30日

100 人委員会は、4回目となる全体会を開催し、約 30 名の市民が参加しました。代表改選は、運営委員会から集まった委員への推薦・承認という方式で行われました。

また、「人が集まる中身が濃くなる 100 人委員会をつくるには」をテーマに参加者によるワークショップを行いました。

●平成 19（2007）年3月9日

福祉・保健分科会が、市長に「日向市における介護保険制度の運用に関する意見書」を提出しました。意見書は、日向市の地域包括支援センターの機能強化、同運営協議会の機能向上を意見する内容となっています。

●平成 19（2007）年 4 月 13 日

市は、「日向市における介護保険制度の運用に関する意見書」に対して回答しました。回答書は、地域包括支援センターの職員等を充実させるとともに社会福祉士の資格を有した職員を採用し、センターの PR 強化と運営協議会の強化を図っていくとの内容でした。

●平成 19（2007）年 5 月 25 日

全体会を開催し、委員の継続意思確認、分科会の統廃合などの組織問題と今後の活動方針について協議を行いました。

委員の継続意思確認については、脱会回答者及び無回答者 29 名について脱会を承認、分科会の統廃合については結論に至らず、次回運営委員会等で協議することになりました。

今後の活動方針については、市民のニーズの収集、委員会の目標を明確にすべきとの意見が出され、市に対し提言している「まちづくり市民講座」の開催実現に向けて努力していくことを確認しました。

●平成 19（2007）年 7 月 10 日

臨時全体会を開催し、分科会の統廃合を中心に協議を行い、休会している 5 分科会を廃止し、現在活動している 3 分科会（行財政分科会、保健・福祉分科会、教育・文化分科会）は統合せずに存続することを確認しました。

●平成 19（2007）年 8 月 11 日

教育・文化分科会の主催で、「第 1 回まちづくり市民講座・特別講座」を開催しました。

- ・時 間 13：30～16：30
- ・場 所 大王谷コミュニティセンター
- ・テーマ 子どもの学力向上をみんなで考えよう
- ・参加者 10 名

●平成 19（2007）年 10 月 27 日

教育・文化分科会の主催で、「第 2 回まちづくり市民講座・特別講座」を開催しました。

- ・時 間 13：30～16：30
- ・場 所 大王谷コミュニティセンター
- ・テーマ 子どもの学力向上をみんなで考えよう
- ・参加者 12 名

●平成 20（2008）年 1 月 11 日

100 人委員会の主催で試行的に、「第 1 回まちづくり市民講座」を開催しました。

- ・時 間 19：00～21：00
- ・場 所 日向市中央公民館
- ・テーマ 新しい日向市総合計画
- ・講 師 日向市企画部企画課職員
- ・参加者 53 名

●平成 20（2008）年 3 月 8 日

福祉・保健分科会の主催で、勉強会を開催しました。

- ・時 間 13：00～15：00
- ・場 所 日向市役所 委員会室
- ・テーマ 認知症って何？
- ・講 師 （社）認知症の人と家族の会 宮崎支部 代表 吉村照代 氏
- ・参加者 28 名

●平成 21（2009）年 1 月 21 日

100 人委員会の主催で、「第 2 回まちづくり市民講座」を開催しました。

- ・時 間 19：00～21：00
- ・場 所 長江公民館
- ・テーマ 日向市の財政について
- ・講 師 日向市総務部財政課職員
- ・参加者 34 名

●平成 21（2009）年 3 月 7 日

100 人委員会の主催で、「第 3 回まちづくり市民講座」を開催しました。

- ・時 間 13：00～15：00
- ・場 所 日向市大王谷コミュニティセンター
- ・テーマ 高齢者福祉のいま
- ・講 師 日向市市民福祉部高齢者あんしん課職員
- ・参加者 25 名

●平成 22（2010）年 2 月 22 日

市長に「日向市における教育委員及び選挙管理委員の給与に関する意見書」を提出しました。意見書は、事務局制を取って初めてのもので、日向市の教育委員及び選挙管理委員の給与について月給制から日給制への変更を意見する内容となっています。

●平成 22（2010）年 3 月 13 日

100 人委員会の主催で、「第 4 回まちづくり市民講座」を開催しました。

- ・時 間 13：30～15：30
- ・場 所 日向市中央公民館レクレーション室
- ・テーマ 自立への大人の役割
- ・講 師 日向市教育長 北村秀秋 氏
- ・参加者 30 名

●平成 23（2011）年 1 月 29 日

100 人委員会の主催で、「第 5 回まちづくり市民講座」を開催しました。

- ・時 間 13：00～16：00
- ・場 所 日向市中央公民館
- ・テーマ 地域でつくる教育環境
- ・講 師 日向市教育長 北村秀秋 氏
- ・参加者 49 名

- 平成 23（2011）年 6 月 18 日
100 人委員会の主催で、「第 6 回まちづくり市民講座」を開催しました。
 - ・時 間 13：00～15：00
 - ・場 所 日向市中央公民館第 4 研修室
 - ・テーマ 日向市の雇用状況と展望
 - ・講 師 ハローワーク日向 所長 森山成人 氏
日向市産業経済部商工港湾課職員
 - ・参加者 41 名

- 平成 24（2012）年 3 月 17 日
100 人委員会の主催で、「第 7 回まちづくり市民講座」を開催しました。
 - ・時 間 13：30～16：30
 - ・場 所 日向市中央公民館第 4 研修室
 - ・テーマ 3.11 の教訓と日向市の取組み
 - ・講 師 宮崎地方気象台 防災業務課 地震津波防災官 甲斐禎朗 氏
日向市総務部総務課防災推進室職員
 - ・参加者 65 名

- 平成 25（2013）年 11 月 16 日
100 人委員会と日向市とのパートナーシップ協定締結 10 周年記念講演
 - ・時 間 14：00～16：00
 - ・場 所 日向市中央公民館第 4 研修室
 - ・テーマ 今、地元が元気になるためには
 - ・講 師 宮崎産業経営大学 学長 大村昌弘 氏
 - ・参加者 30 名

- 平成 26（2014）年 6 月 14 日
100 人委員会の主催で、「第 8 回まちづくり市民講座」を開催しました。
 - ・時 間 13：00～16：00
 - ・場 所 日向市市民活動支援センター
 - ・テーマ 宮崎の「子どもの貧困」～取材を通して、見えてきたこと～
 - ・講 師 宮崎日日新聞社報道部 新坂英伸 氏
 - ・参加者 62 名

- 平成 26（2014）年 7 月 19 日
100 人委員会の主催で、「第 9 回まちづくり市民講座」を開催しました。
 - ・時 間 13：00～16：00
 - ・場 所 大王谷コミュニティセンター
 - ・テーマ 「県北の子ども達は…～フリースペースから見えてくること～」
 - ・講 師 のびのびフリースペース 主宰 喜多裕二 氏
 - ・参加者 37 名

●平成 26 年（2014 年）10 月 25 日

100 人委員会の主催で、「第 10 回まちづくり市民講座」を開催しました。

- ・時 間 13：00～15：50
- ・場 所 日知屋公民館
- ・テーマ 宮崎の食の貧困と安全について
- ・講 師 九州EM普及協会 事務局長 白川孝重 氏
- ・参加者 36名